

# 衆議院財務金融委員会ニュース

平成 21.3.25 第 171 回国会第 13 号

3月25日(水)、第13回の委員会が開かれました。

- 1 国際通貨基金及び国際復興開発銀行への加盟に伴う措置に関する法律の一部を改正する法律案(内閣提出第14号)
- ・与謝野財務大臣から提案理由の説明を聴取しました。

## 2 財政及び金融に関する件

- ・与謝野財務・金融担当大臣、竹下財務副大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。
- (参考人) 日本銀行総裁 白川方明君

(質疑者及び主な質疑内容)

### 原田憲治君(自民)

- ・ガソリン販売業者の売上債権が貸し倒れとなった場合の揮発油税の還付又は控除制度を設ける必要があるのではないか。
- ・関西空港の整備・拡充に対しては、財政的支援を強化する必要があるのではないか。

### 小沢鋭仁君(民主)

- ・政府の経済成長率見通しの達成可能性について大臣はどのように考えているのか。
- ・中小企業の手形を政府が保証し、日銀が買い取る提案についての大臣はどのように考えるか。

### 下条みつ君(民主)

- ・現在の外貨準備の規模は適正ではないのではないか。
- ・米国のトレジャリー・ビル(財務省短期証券)について引受けの要請があっても拒絶するべきではないか。
- ・農林中金はファンドマネージャー等を登用する必要があるのではないか。

### 佐々木憲昭君(共産)

- ・平成12年及び平成17年の国勢調査における父子世帯数を伺いたい。また、その実態についての大臣の所感を伺いたい。
- ・父子世帯における児童扶養手当の適用除外見直しの必要性について言及した小淵少子化対策担当大臣の答弁を踏まえた対応方針について伺いたい。

- 3 国際通貨基金及び国際復興開発銀行への加盟に伴う措置に関する法律の一部を改正する法律案(内閣提出第14号)

- ・与謝野財務・金融担当大臣、竹下財務副大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
  - ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
(賛成 自民、民主、公明、国民、中村喜四郎君(無) 反対 共産)
  - ・山本明彦君外2名(自民、民主、公明)から提出された附帯決議案について、山本明彦君(自民)から趣旨説明を聴取しました。
  - ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。  
(賛成 自民、民主、公明、国民、中村喜四郎君(無) 反対 共産)
- (参考人) 日本銀行総裁 白川方明君  
日本銀行副総裁 西村清彦君

(質疑者及び主な質疑内容)

### 鈴木馨祐君(自民)

- ・アジア諸国の発言権を高めるために我が国の取るべき方向性について、大臣に伺いたい。
- ・IMFの更なる資金基盤強化を図ることについて、大

臣の見解を伺いたい。

- ・アジア通貨危機と今回の金融危機との構造上の相違は何か。
- ・前回のG20での金融機関の自己資本比率規制強化の議論について、各国の態度はどうであったか。

## **階 猛君（民主）**

- ・小沢民主党代表の第一公設秘書逮捕に対する批判報道について、大臣は日本の刑事訴訟手続きは民主的で透明性が高いと発言しているが、その根拠は何か。
- ・2000年に日銀がゼロ金利を解除したことについて、フレドリック・ミシュキン元米連邦準備理事会理事は批判しているが、大臣の見解を伺いたい。
- ・我が国はIMF出資比率第2位であるが、これに伴い発言権を高める必要があるのではないか。

## **鈴木 克昌君（民主）**

- ・昨年8月以降世界的な金融危機が続いているが、現在の金融情勢に対する大臣の認識を伺いたい。
- ・政府紙幣及び無利子非課税国債のメリット及びデメリットについて説明してほしい。

ットについて説明してほしい。

- ・大臣が財政再建路線を修正したと報道されているが、その真意は何か。

## **佐々木 憲昭君（共産）**

- ・多額の資金を拠出するのであればIMFの融資制度について相応の改革を求めるべきと考えるが、大臣の認識はどうか。
- ・IMFの各国経済に対する過度の介入には問題があると思うが、大臣の認識はどうか。
- ・IMFの他に出资额によって発言権が増減する国際機関はあるか。